

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて ～コミュニティ・スクールを核とした質の高い学びを保障する取組～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
牛久市立 牛久南中学校	牛久南中学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 3名 2名 地域コーディネーター 0名 0名	牛久南中学校地域学校協働本部



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校の目指す生徒像の中で、「誰かのために役に立とうとする生徒、感謝の心・奉仕する心を大切にしている生徒、地域に貢献しようとする生徒」と3つの姿について、地域との連携が必要である。また、新学習指導要領では「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念において、学校と地域がつながり地域総ぐるみで子供を育成していくことが求められている。そこで、コミュニティ・スクールを通して、社会に開かれた教育課程を実現し、子供たちに育成すべき3つの資質能力を高めたい。

目標や目指す姿(学校)

確かな学力を身につけ、心豊かでたくましい生徒の育成

目標や目指す姿(地域)

心豊かに健やかに学び続ける地域
人のつながりによって子供を守り育てるまち



牛久南中学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員 | <input type="checkbox"/> 学識経験者 |
| <input type="checkbox"/> 保護者やPTA役員 | <input type="checkbox"/> 元学校評議員 |
| <input type="checkbox"/> 青少年育成市民会議会長 | <input type="checkbox"/> 地区社会福祉協議会委員 |
| <input type="checkbox"/> 行政区長 | など、計 19 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 教職員 | 年間平均 4 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

学校運営協議会委員(以下、協議会委員)が校内の授業研究に参加し、教職員と一緒に子供たちの学びを見取っている。一人ではわからなくて困っている子供が友達とつながることによって安心して学べたり、高い課題にチャレンジしていく中でグループやペアの力を借りながら深い学びを進めたりしていく様子を参観している。授業後は教職員と共に振り返りを行うグループ協議にも参加している。授業研究を通して、授業づくりや教育課程についての理解が深まり、今まで以上に学校理解が進み、「社会に開かれた教育課程」の実現につながった。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

第3学年が「地域活性化」をテーマに学習しており、地域と連携した授業づくりの協議を行った。その結果、子供たちが地域住民に地域課題やよさをアンケートで調査したり、自分たちの考えた解決策を直接発表したりすることになった。そのため、協議会委員が地域住民との橋渡しを行った。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

子供たちは地域住民の思いや地域課題を知り、主体的に地域活性化プランを考えた。ある地区では行政区長と協議を重ねて地域の祭りを企画・運営し、地域の子供たちが賑わう取組になった。他では地域清掃、避難所設営訓練、高齢者との交流会等を企画・実施した。



地域の現状を語る行政区長

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

- ◆地域学校協働活動推進員が学校側の要望や学校の課題、教育目標を十分に理解した上で、協議会委員に説明したり意見を聞き取ったりして学校に伝えている。また、協議会委員との連絡・調整、議事録の作成、全体の司会進行の役割を担っている。
- ◆第3学年の総合的な学習の時間の取組において、学校運営協議会委員でもある地域学校協働活動推進員が、学校運営協議会等で話し合われた課題に対し、保護者や地域住民と連携して、課題解決のための取組を企画・運営する等、一体的推進を図っていた。

取組

成果・効果

指標1 指標2

自分には人の役に立っていると感じることがある

学校で学んだことを通じて地域や社会をよくするために何ができるかを考えている

R3	71%	63%
R4	75%	65%

牛久南中 生徒アンケート
(R3 第2学年, R4 第3学年)

【参加した地域住民の声】

- ◆中学生が自分たちで地域を盛り上げよう企画してくれて、とても良い活動になりました。今までは学生と接する機会がなかったのですが、自分たちで動いている中学生を見てとても頼もしく感じました。
- ◆中学生になると地域行事への参加が減り、区長として悩んでいたが、子供たちが積極的に地域に出てくれて有難かった。区内小中学生95名だが、乳幼児を含めて113名も参加してくれた。

【生徒たちの声】

- ◆始めは「地域活性化」ということテーマは難しいことだと思っていたが、みんな楽しそうに交流している様子を見て、皆がつながることで地域を活性化できると感じた。
- ◆準備は大変だったけど、地域の方から感謝されたり褒められたりして、やってよかったと思いました。今度は地域行事に参加してみようと思います。

- ◆生徒が自分たちの考えた地域活性化プランを実現できたことで、「自分たちが地域の役に立った」という実感を得られた。
- ◆地域課題を基に学んだことを通じて、郷土に愛着を持ち、地域参加や地域貢献を考える生徒が増えた。